

立西巻き



尼崎市立立花西小学校

2026.9.15(火)

No.20

[校長先生つぶやき、つぶやく(校長だより)]

失敗した時の立ち直り方～女子プロレスラー救世忍者乱丸さん～

9月15日(火)こころの教育講演会を行いました。

毎年、テーマを変えて、講師を招聘し、日程調整がうまくいけば、お家の方と一緒に学ぶチャンスとして行っています。

昨日の学校公開では、多くのお家の方が参観に来てくださり、子どもたちと学校全体の姿についてご覧いただきました。ご来校くださり、ありがとうございました。

お子様の頑張りを感ずることができましたでしょうか。

私自身思い起こすと、参観は「いいところ見つけの日」として位置づけてはいましたが、どうしても、どうしても見えてしまう我が子のあんなこと、そんな姿…。比べてはいけないのに、なぜか見てしまうよそのお子様の感心立派な姿。

先生が質問をしているのに、「絶対、違うこと考えてるわ…。」と感ずる我が子の背中…。それでも、私の姿を見つけた瞬間、にやっと笑って、椅子の座り直しをするあたりは、親の「ちゃんとまっすぐ座りいや。」の心の中のビーム(怒)を感じたようです。そして、同時に、なんだか心がつながっているようで、ぶちっとにらみを利かしながらも、ふふっとうれしくもなりました。



よく聞く、「七褒め、三叱る。褒める時は具体的に。叱る時は愛情をもって。」という言葉がありますが、参観があると、家とはまたちがった姿で、七褒めができます。2学期がはじまり、慣れてきた頃ではあるものの疲れもたまってきているかもしれません。叱らなければいけないシーンもありますが、どうか、参観での我が子の姿を思い起こし、3対1ぐらいの割合でほめて頑張りを伝えてくださいね。

それから…

右上のメモは「失敗した時の立ち直り方は何ですか。」という乱丸さん(女子プロレスラー)への4年生の子どもからの質問についてです。乱丸さんからの回答「**まずは、自分で考える。そして、修正をする。でも失敗する。だって、人間だもの。**」といった言葉は、艱難辛苦を乗り越えながらも、努力を続け、演題のとおり「夢をカタチに」してきた大人のリアルな返事だなと感じました。そして、最後の「**親や友人に話をきってもらう。**」というくりが心にしみます。まだ生まれて6年から12年しか経っていない子どもたちですもの。全てが新しい。未経験の連続です。子どもの日常のリアルに寄り添う私たちです。あらためて、お家の方と私たち教職員が「失敗した時の立ち直り方」の見本となれたらよいなと考えたところです。女子プロレスラー救世忍者乱丸さんのお話を子どもたちとお家の方、地域の皆様と一緒に聞くことができてよかったです。ありがとうございました。

失敗した時の立ち直り方
は何ですか。

乱丸

なんで失敗したのかを考える。
その理由を次に生かして同じ失敗しないようにする。
(でも同じ失敗するねん。それが人間てものや)の
あとは親や友人に話をきってもらう。カブ? サンバッチ
いこー!

徒歩での来校ご協力ありがとうございました。

保護者の皆様の徒歩でのご来校にご協力に感謝申し上げます。(お身体のご都合やご事情により、乗り物での来校もあることは想定しています。) また、見送り、迎えなどでの乗り物につきましても、安全確保のため子どもたちの通行の妨げにならない場所、所定の駐輪場をご利用くださいますようお願いいたします。

